

富山県看護連盟 研修会報告		開催日	2020年9月5日(土)
		時間	9:30～12:00
		場 所	看護研修センター 第一研修室
研修会名	中堅看護職員研修会		
内容	講演 1 看護連盟の現状と課題・続基礎研修		
	講師 富山県看護連盟 会長 三谷 順子		
	講演 2 内外の諸情勢について		
	講師 参議院議員 野上 浩太郎 先生		
参加人数	108名		
【研修会内容】			
講演 1	はじめにDVD鑑賞で看護連盟と今年からの新たなスローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」が紹介される。看護を取り巻く課題は、労働環境や教育等、様々なものが挙げられるが看護職の力で解決していかなければならない。現場で困っていることを声として伝えることからスタートする。その為には政治の力が必要であるが、現在4名の議員では難しい。法令改正には看護を理解する国会議員を応援し味方につけることも必要である。 看護職として看護に関連した法律の理解も必要である。憲法25条や労働基準法、医療法、保助看法、人確法などがある。人確法から看護系大学が増えたり、看護関連予算で看護業務が改善されてきた。合わせて保助看法の一部改正により看護師で統一することにより男性看護師の増加にもなった。また新人看護職に対する研修制度(努力義務化)により看護職の専門性の強化や特定行為に係る看護師の研修制度により看護職の業務拡大への一歩となった。 富山県の会員数は、協会は増えているが連盟が増えないことが現状である。看護協会の政策実現のために活動する協会員の集まりが看護連盟であり会員獲得・後援会活動の中心として自主的活動を行っている。 衆議院と参議院の違いや参議院選挙における比例代表選挙で候補者名を書くことの重要性、連盟会員としての役割についても一人一人知る必要がある。議員からの言葉で「政治に無関心になることは出来ても無関係にあることは出来ない。政策は投票率の高い層に誘導される。選挙に行くことは自分の払った税金を取り戻しに行く唯一の方法である」とある。選挙に行くことを習慣づけることや期日前投票を行い、特に若い世代が自分たちの未来の環境を整えるために、今できることを行う必要がある。		
講演 2	今回、安倍総理が辞任を表明されたことはとても残念だ。3期連続で内閣官房副長官を務めさせてもらってとてもお世話になった。来週の総裁選では菅官房長官を推すつもり。強面のイメージだが実はお酒は飲めず甘党、毎日のランニングや筋トレについて話す。自分の意思が全くぶれずまっすぐで、今回の新型コロナウイルスにも最前線で指揮を執り頼れる人物だと紹介された。 自らの外交では総理と40か国程行動を共にし、内容を現地の記者に伝えていた。安倍総理は相手の心を鷲掴みにする。トランプ大統領の場合は当時流行っていたピコ太郎を真似たお孫さんの動画を見て、ファーストコンタクトを行いその話題から二人の関係を築いたという。世界的に見て医療提供体制では日本は病床における看護職員数が極端に少ない。一人ひとりが健康で働ける職場を作るためにハラスメントに対してはガイドラインを作成し潜在看護師の方にも戻りやすい環境作りを行っていく。来年度からマイナンバーを用いた方法にも力を入れていく予定。また患者像の複雑化により基礎教育の改革が必要。 新型コロナウイルスに対しては看護師の皆様の風評被害もあり大変だろうと思う。国としては慰労金、PPE(個人防護具)の配布、来年はワクチンも使用できる予定とされている。		
	野上浩太郎先生からは普段報道されない外交の話や今後の医療の在り方について話を聞いた。 新型コロナウイルスの影響で様々な業界に影響を及ぼし、医療従事者のおかれている現状を十分に理解されており、今後の医療体制が良い方向に進行するよう期待している。		
【まとめ】			
 			